

市議会行政視察 海外に学ぶ

*スマートシティへの取組みや技能実習生及び留学生の日本への派遣状況等について調査を行うため、ベトナムに駐在する政府関係機関、日本企業、及び現地企業等への視察を行いました。

『令和4年度海外都市行政視察報告』

参加者 玉川雅彦 中川 修 岩崎和仁

日程 令和4年10月24日～10月28日

視察先 ベトナム

■ JIS人材開発株式会社

視察事項：介護分野の技能実習生の育成状況について

JISは、教育センターをハノイ公衆衛生大学内に置き、大学と連携した人材育成をしています。千葉県や鳥取市とも協定を締結し、介護分野等での人材派遣に協力をしています。

日本語スクールは、現在、約

220名が在籍しており、学生たちは日本語でのコミュニケーション能力を高め、また、各分野で実際に使用される日本語を習得することで、業務に即した表現を身に付けるなどのスキルアップに努めています。

実際に、出国前のクラスの学生たちと話をすると、聴き取りやすい日本語で交流をすることができ、来日後も、少し経験を

積むことで、スムーズに高齢者等への対応が可能となるのではないかと感じました。



JIS人材開発株式会社－実習先の公衆衛生大学にて

■ 在ベトナム日本国大使館

視察事項：ベトナムを中心としたASEAN地域でのスーパースマートシティの取組みについて

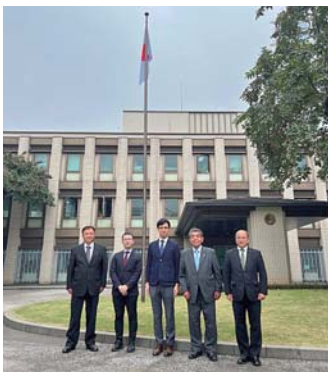
在ベトナム日本国大使館では、2018年に設立された「ASEAN スマートシティ・ネットワーク (ASCN)」について、説明を受けました。

ASCNは、ASEAN加盟各国のそれぞれ3都市程度がス

マートシティ開発のために協力する*プラットフォームとなり、先端技術やデジタル技術などのテクノロジーを活用して、市民生活の改善を目指す組織です。

ベトナムでは、ホーチミン・ダナン・ハノイの3都市が実証都市として選定されており、ハノイでは信号集中監視、高度道路システム、都市管理システム、スマート観光基盤が課題として抽出され、検討が進められているとのことでした。

ベトナムは、デジタルを使った社会づくりの開発の余地が日本より多く、開発が進んでいます。今後、ベトナムの事例が本市のスマートシティ構想推進の参考になると考えます。



在ベトナム日本国大使館

*スマートシティ プラットフォーム 最先端技術の活用により、都市や地域の機能やサービスを効率化・高度化し、生活の利便性や快適性を向上させるとともに、人々が安心・安全に暮らせるまち。複数の組織で提携し、事業を実施するための場のこと。

■ベトナム住友商事会社

視察事項：北ハノイで行われるスマートシティ開発事業
TOWN&GOWN

住友商事株式会社は、ハノイ市北部のスマートシティ開発に向けたコンソーシアム（共同事業体）を組織し、ベトナムの社会問題を解決するまちづくりと50年にわたって持続的に成長する街の開発を推進しています。

開発地では、IT産業パーク、*マルチモーダル交通センター、ハイテク複合医療施設等、様々な大規模開発が計画されており、中心市街地からの鉄道延伸も予定されているとのことでした。

住友商事株式会社では、スマートシティをサステナブルシティと言い換え、常に街をアップデートしていくという考え方をしており、その方針に共感しました。

本市が取組みを進めるスマートシティ構想にも、ゴールはスマートシティの完成でなく、ま

ず現在の課題を解決するための施策に取り組み、新たな課題に直面するたびに、街をアップデートして解決に取り組むという考え方が必要であると感じました。

■広島大学ベトナムセンター

視察事項：本市への留学生に
TOWN

2010年11月、広島大学はベトナム国家大学ホーチミン市校傘下の人文社会科学大学内に「広島大学ベトナムセンター」を設置し、ベトナムからの留学生の受け入れ、日本とベトナムの学術交流、文化交流活動の支援などを行っています。

東広島市への留学の希望について伺うと、日本への留学希望は一定数あるとのことでしたが、ベトナムでは、国費による留学は、制度上地域を限定して選定することができず、留学生の側が東広島市を留学先として指定することができないとのことだ

した。

しかし、数年前に民間交流団体が大学内で酒まつりを実施したところ、他の大学が興味を持ち、自分の大学でも実施したいとの申し出があり、また、介護人材の送り出し機関から広島県、東広島市と連携を図りたいとの話もあることから、東広島市へも強い関心があることを感じることがお互いのメリットとなると考えているとのことでした。今後も、広島大学ベトナムセンターと連携し、積極的に交流を図ることで、本市を身近に感じてもらおう取組みを進めるべきと考えます。



広島大学ベトナムセンター

■全体を通じての所感

本市の***TOWN&GOWN**構想とハノイ市北部のスマートシティ開発について、今後、それぞれの計画に対する市民意識などを比較・検討することで、本市のスマートシティ構想がより良いものになると感じました。

また、介護分野における人材の確保策は早急に検討が必要な課題であり、例えば、介護人材を本市で育成することが、人材不足解消の一助になるのではないかと考えます。そのため、社会環境の整備に向けて、施設関係者と意見交換を行いながら、効果的な政策提案ができるよう取り組んでいくべきと感じました。

広島大学ベトナムセンターでの意見交換から、ベトナムの方にも東広島市に関心を持っていただいていることが解りました。今後継続的に行うことができる交流活動を検討するとともに、そうした活動を支援していくべきであると強く感じました。

*マルチモーダル Town&Gown

複合語の形で用いられる場合が多く、複数の、複数の形式の、複数の手段による、などの意を表す。5ページをご参照ください。